

2022年度 第4回超電導応用研究会シンポジウムのご案内

1987年に超電導体の臨界温度が液体窒素温度(77 K)を超えて「高温超電導フィーバー」が到来し、IEC (International Electrotechnical Commission, 国際電気標準会議)では1989年にTC(Technical Committee, 専門委員会)にて90番目の組織としてTC90: Superconductivityが立ち上がりました。2014年には超電導エレクトロニクス分野が加わり、今日に至るまで超電導分野における世界標準を複数発行してきました。国際レベルでの標準化は、超電導材料やそれを使った電力輸送、計測、情報処理といった技術を製品化し、世界的なビジネス展開を行う上で、特許などの権利関係と並んで必要不可欠なものです。

本シンポジウムでは、この標準化に関わられた専門家の方に標準化の重要性や安全保障管理という観点からご講演いただく予定です。超電導分野にとどまらない、幅広い分野の方々との議論や意見交換が行えることを期待し、多くの方々の御参加をお待ちしています。

テーマ: 超電導の標準化に関して

日時: 令和5年3月3日 13:15~16:30

開催形式: ハイブリッド(現地+オンライン)

新型コロナウイルスの蔓延状況により完全オンライン開催となる可能性もございます。

開催会場: 産業技術総合研究所 つくば中央第一事業所 共用講堂 中会議室

https://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tsukuba/center/tsukuba_map_c.html

参加費: 2,000円(資料代として)Paypalによるオンライン決済を基本としますが、現地決済も可とします。

ただし、完全オンライン開催の場合はオンライン決済のみとなります。

プログラム

13:15~13:20	1. 開会の挨拶	超電導応用研究会委員長 中村武恒 (京都大学)
13:20~13:50	2. 企業における国際標準化戦略 (発表25分+質問/議論5分)	山田雄一 (住友電気工業)
13:50~14:20	3. 安全保障輸出管理の概要と国際情勢 (発表25分+質問/議論5分)	久芳弘義 (産業技術総合研究所)
14:20~14:40	休憩	
14:40~15:00	4. 超電導材料と国際標準化 (発表15分+質問/議論5分)	西島元 (物質・材料研究機構)
15:00~15:25	5. 超電導エレクトロニクスに関する国際標準化 (発表20分+質問/議論5分)	大久保雅隆 (産業技術総合研究所)
15:25~15:35	6. 議論	
15:35~15:40	7. 閉会の挨拶	超電導応用研究会副委員長 仲村直子 (前川製作所)
15:40~16:30	8. (現地参加かつ希望者のみ)量子技術クリーンルーム見学	藤井剛 (産業技術総合研究所)

オーガナイザー: 山田雄一(住友電工)、西島 元(NIMS)、大久保 雅隆(産総研)

申込方法: 下記リンクにてお申込みください(締め切り日は開催日一週間前程度を予定)。

<https://forms.gle/HeB1DMZbvQuUP1947>

連絡先

申し込み等に関して

東京大学 寺尾 悠

E-Mail: yterao8934@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

会場・講演内容に関して

大久保 雅隆(産総研)、山田雄一(住友電工)、西島 元(NIMS)、

E-Mail: m.ohkubo@aist.go.jp、yamada-yuichi@sei.co.jp、又は NISHIJIMA.Gen@nims.go.jp